

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	青少年センター運営事業			
予算科目	10 款 5 項 1 目			
総合計画での位置付け	教育・文化・スポレクの振興～うるおいと生きがいのひとづくり～ 生涯学習の推進			
所管課情報	担当課:	社会教育課	電話番号(内線):	737
記入者情報	所属長:	武智 亨	担当責任者:	田中 敬文
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	青少年及び一般市民			
根拠法令等	伊予市青少年センター設置条例			
事業の目的	青少年の抱える様々な不安・悩みに対し、適切な助言や指導ができる相談・指導体制の充実を図る。			
事業の内容	青少年の非行実態を把握し、非行の早期発見・早期指導を行うため、補導委員をはじめ関係機関との連携を密にし、補導活動の展開を図る。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	2,604	2,998	723	2,679
	人件費	488	636	318	636
	合計	0	3,634	1,041	3,315
人件費 内訳	人工数	0.06	0.08	0.04	0.08
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	488	636	318	636
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	3,092	3,634	1,041	3,315

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
青少年補導委員活動実績	実施回数	1888	1800		1769

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	3,248	3,000	3,000	3,000	3,000	15,248

成果指標				
成果指標	活動指標事業の実施回数			
指標設定の考え方	青少年補導員の活動を通して、青少年の指導がうまく適切に図られたか。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標27年度
目 標	1800	1800	0	0
実 績	1888	1769	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	補導委員や教職員による献身的な活動により、早期の非行発見や指導、被害防止に大いに役立っている。今後とも継続して推進していく必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	青少年の非行防止、ハラスメント防止の活動は重要である。相談を受ける活動も重要である。現在は補導委員や教職員の献身的な活動により早期発見・指導、被害防止に至っている。今後ともこの活動を推進していく必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題